

様式 1

令和 3 年度関係人口創出・拡大のための中間支援モデル構築に関する調査・分析業務

企画提案書（全体概要）

提出日：令和 3 年 3 月 1 5 日

提案者	提案団体名	特定非営利活動法人伊豆 in 賀茂 6			
	提案団体 代表者氏名	井田 一久			
	提案団体 所在地	静岡県下田市三丁目 1-2 3			
	共同 提案団体名				
	共同提案 団体所在地				
	提案団体 担当者名 (所属・役 職・氏名)	理事 岡崎 大五	電話番号	0558-23-7187	
			Eメール	izuinkamo6@gmail.com	
	事業名	地域の力をひとつに。「#下田の暮らし」で関係人口と地域をつなぐ、新しい形のポータルプログラムモデルの構築。			
	事業実施 地域	静岡県下田市			
事業実施以降に展開 を見込む地域等		R 4 年以降、松崎町ほかに提案予定			

<p>①モデル事業実施地域の概要・課題</p>	<p>事業実施地域の概要・課題</p>	<p>※ 事業実施地域の概要 下田市将来人口ビジョンより一部抜粋 (発行 静岡県下田市、企画・編集 下田市統合政策課政策推進係)</p> <p>■人口の現状 ✓総人口の減少 ✓少子高齢化の進行 ✓自然減の拡大と社会減の継続 ※下田市では、現在、人口減少が継続しており、将来的にも、大幅な人口減少と少子高齢化の急速な進行が推測されています。地域としては、伊豆半島南端に位置する立地特性に加え、交通機関が必ずしも十分整備されていないことによる交通利便における劣勢等を有しています。そのため出生率を向上させることによって人口減少に歯止めをかけ、将来的にバランスのとれた人口構成を目指すとともに、転出の抑制と転入の増加によって人口規模の確保とその安定を図る必要があります。さらに、人口減少対策の効果が浸透するまでは避けることのできない高齢化・人口減少社会を見据え、効率的かつ効果的な社会基盤を構築していくという視点を持つことも求められます。</p> <p>■「目指すべき将来の方向」の一つ ✓人が集い、営みを継続できる地域の実現 本市は、南伊豆地域の日常的な人の流れの中心となっています。歴史・文化・食などの地域資源を活かした観光を基軸としたまちづくりにも取り組んでおり、今後、東京から 130km 程度の距離圏において、地域の魅力を発信し、交流人口・関係人口の増加を促進するとともに、既存産業をはじめとして地域の経済を支え、市民の生活基盤の安定を図ることが必要です。また、良好な地域の治安や人間性をPRしていくとともに、地震・風水害等の災害に対する安全性を高め、安心・安全な地域として発信していくことも求められます。これらの施策を実施していくことによって、若年層の市外への転出抑制や市外転出者のUターン促進に努め、人口規模の着実な確保を目指します。</p> <p>■関係人口と地域の間にある課題 「目指すべき将来の方向」に向けて、各々が活動を行っているが ✓発信された情報が煩雑であり、関係人口からアプローチがしづらい。 ✓情報を発信していたとしても、それぞれの粒が小さく情報発信力が弱い。 ✓コロナ禍の影響もあり、関係人口と地域の双方向のコミュニケーションの場が限られている。 上記により、関係人口拡大・創出の流れが停滞する課題が顕在化しつつあります。</p>
-------------------------	---------------------	--

様式 1

令和3年度関係人口創出・拡大のための中間支援モデル構築に関する調査・分析業務

	関係人口創出・拡大に係る取組のビジョン・テーマ設定	<p>【関係人口創出・拡大に係る取組のビジョン・テーマ】</p> <p>■ビジョン 中間支援団体として地域の力点を線に、線を面に集結する仕組み、関係人口とのコミュニケーションをより効率的にし、その効果を波及的に広げ、関係人口の創出・拡大を図るほか地域への展開が可能な新しい仕組みを構築する。</p> <p>■テーマ</p> <p>1) 今まで点と点で活動しがちであった地域の力を集約、かつそれぞれの情報発信力を高める仕組みを構築することで、より効果効率的に関係人口にアプローチを可能にする。</p> <p>2) 関係人口の創出・拡大に向けて、今までの一方通行的なデジタル発信ではなく、「暮らし」をテーマとした共感性をよぶインタラクティブ（双方向）なポータルサイトを構築することで、関係人口とのコミュニケーション機会のきっかけ創り出す。</p> <p>3) 移住体験（暮らし体験）施設を利用し、現地での地域と関係人口のアナログ（リアル）な関係構築の更なる深化を図る。</p>
--	---------------------------	--

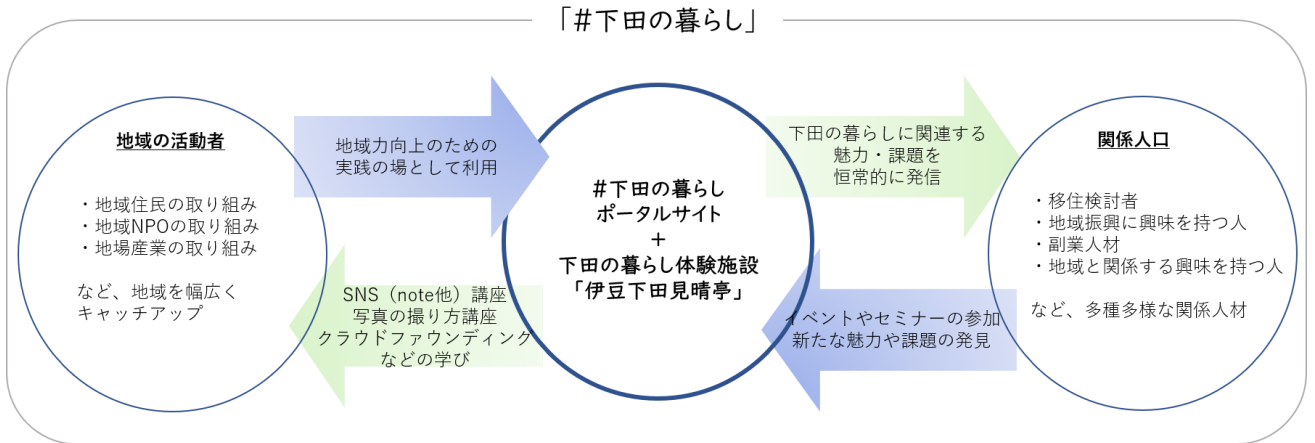
様式 1

令和3年度関係人口創出・拡大のための中間支援モデル構築に関する調査・分析業務

※ 事業実施地域における取組について記載。取組の全体像、スキーム、取組に関わる関係者（産学官民等）の役割分担、具体的な内容と記載される効果、KPI、資金計画、費用負担のあり方等を記載すること。

【取組の全体像・スキーム】

「#下田の暮らし」で地域をひとつに。ポータルサイトを通じて関係人口の創出・拡大モデルを構築する。



「下田の暮らしポータルサイト」「下田の暮らし体験施設」を新たに設立。  
上記に参加してもらう、地域の人たち（個人事業主、地場産業者、NPOなど）に対して、コンテンツ力（自己啓発力、情報発信力、クラファン力）を向上するための、学びを提供。  
その実践の場として「下田の暮らしポータルサイト」「下田の暮らし体験施設」を利用してもらうことで、リアリティのある新しい地域情報発信のかたちを構築することで、関係人口を持続的に創出・拡大する仕組みを開発する。

②モデル事業の取組内容

【具体的な取り組み内容と期待される効果】

- 1) 「#下田の暮らしポータルサイト」を新たに開設
  - ✓ターゲットは地方移住検討者をはじめとして、地域振興に興味を持つ人（企業）や2拠点生活を考えている副業人材、地域と関係する興味を持つ人など
  - ✓ポータルサイトのコンセプトは地域で活動している人たちの想いや生声をリアルに体感できる。
  - ✓地域の活動者の協力を得て、ハッシュタグ「#下田の暮らし」をつけた地域の活動者のあらゆるSNS投稿（facebook、instagram、twitter、noteなど）をピックアップし、ポータルサイトに掲載することで、今まで分散され検索しにくい情報を集約する。
  - 期待される効果  
今まで分断されていた情報が集約されることで、関係人口の多様な興味関心にワンストップで受け止めることができる。
- 2) 下田の暮らし体験施設として「伊豆下田見晴亭」をオープン
  - ✓地域の活動者と施設運営が共同で暮らし体験イベントや、セミナー（オンラインも想定）などの実施の場として活用
  - ✓移住体験施設も兼ねる
- 3) 地域の活動者へのアプローチおよび情報発信力強化
  - ✓下田市役所の協力を得て、市役所が発行する「広報しもだ」での広告掲載
  - ✓郷土紙「伊豆新聞」での広告掲載
  - ✓NPO 法人伊豆 in 賀茂6が今まで地域で築いてきたネットワークを通じて呼びかけを行う。
  - ✓希望があった地域の活動者に対して、SNS 講座、写真の撮り方講座、クラウドファンディング講座など、情報発信力向上のための学びの場を提供する

様式 1

令和3年度関係人口創出・拡大のための中間支援モデル構築に関する調査・分析業務

→期待される効果  
地域の活動者のそれぞれが学びを経験することで、関係人口へのアピール力の向上が期待できる。

4) 地域の活動者の情報発信

✓地域の活動者は学びを得たのち、それぞれが独自に SNS などでの思いや自身の魅力、課題など、関係人口の共感をよぶ情報をハッシュタグ「#下田の暮らし」をつけて発信。#下田の暮らしポータルサイト運営は随時それをピックアップし、掲載していく。

5) 関係人口への告知

→PRTIMES を利用しプレスリリースを配信することで全国に周知をおこなう。  
→ハッシュタグをし、常に情報がアップデートしていく仕組みのため、情報に触れる関係人口は自然に増えていく仕組み。

6) 関係人口から地域へのアプローチ

→#下田の暮らし体験イベントやセミナーへの参加  
→地域の活動者それぞれへのアプローチ

【事業の立ち上げおよび運営にかかる費用】

立ち上げにかかる費用

1) ポータルサイト構築費	¥2,000,000 (素材費用含む)
2) 伊豆下田見晴亭修繕改装費	¥3,000,000
3) プレスリリース作成配信費	¥ 100,000
4) 事前準備稼働人件費	¥ 480,000 (8,000×2人×30日)

運営にかかる費用

1) ポータルサイト運営人件費	¥1,440,000 (8,000×1.5人×120日:ライティング費含む)
2) 学びのプログラム実施費用	¥1,000,000 (1回200,000×5回想定:事前打ち合わせなど準備費含む)
3) 伊豆新聞広告掲載費	¥ 135,000 (1回掲載15,000×9回想定)
4) 体験イベント・セミナー実施費	¥1,800,000 (200,000×9回想定:事前打ち合わせなど準備費含む)
5) 事業分析・報告レポート作成費	¥ 200,000
6) 諸経費	¥ 95,000 (通信費、出力費、交通費ほか)

想定実施費用¥10,250,000

そのうち、伊豆下田見晴亭修繕改装費の一部¥1,000,000(移住体験としての使用も鑑み)

体験イベント・セミナーの一部¥800,000(一部は有料化するなどを想定)

は、伊豆 in 賀茂6の持ち出しにてまかなう。

合計¥8,450,000

様式 1

令和3年度関係人口創出・拡大のための中間支援モデル構築に関する調査・分析業務

【提案者の概要】

※ 関係人口の創出・拡大に関する経験・専門知識を有しているか。これまでの取組状況について記載すること。

NPO 法人伊豆 in 賀茂 6 は 2019 年 9 月設立、下田市との協働による空き家バンク事業を実施（空き家登録件数：47 件、利用希望者数 134 組、成約数：30 件、移住者数 54 人、2019.9~2021.2）設立後 1 年半で行ってきたイベント事業、定期的習い事教室等は 30 を超え、のべ 1,000 人近い集客を達成。これらの事業を通して、地域での信頼醸成、地域住民同士の関係強化に努めてきた。

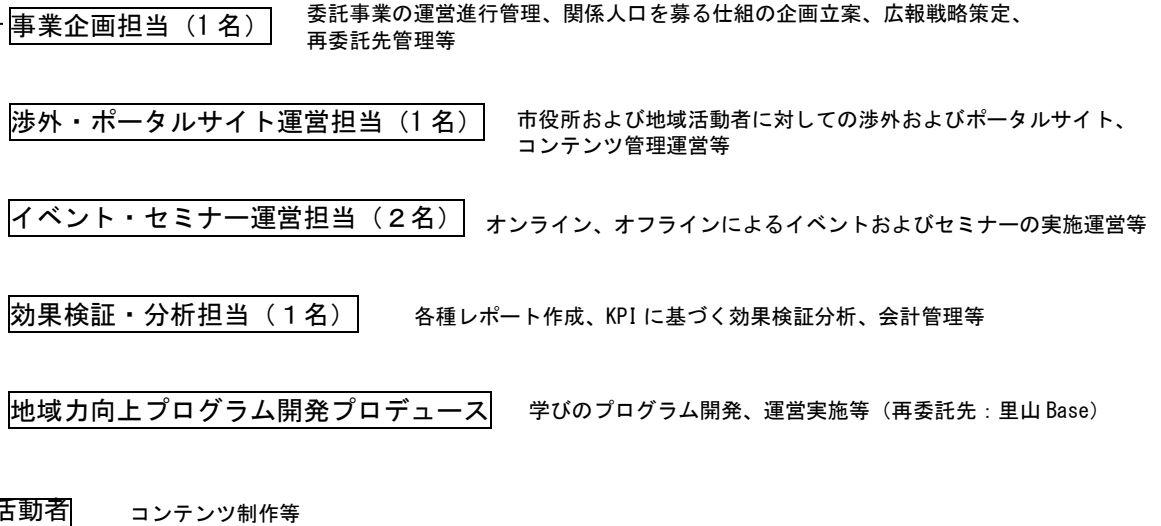
【事業実施体制】

※ 図等を用いて実施体制（再委託先を含む）を分かりやすく記載すること。委託事業を遂行するために必要な人員・体制を構築することとしているか。提案する事業のための人員・体制が十分であることが分かるよう記載すること。また、それぞれの役割ごとに想定している人員についても記載すること。

※ 事業実施に際し、取組に関わる地元関係者（産学官民等）との連携・協力体制が構築されていることを示すこと。また、それぞれの役割についても記載すること。

※ 事業管理を行うに際し、適切な会計管理及び再委託事業者等への指導ができる専門知識を有する人材が内部に確保できることを示すこと。

NPO 法人伊豆 in 賀茂 6



③提案者の概要・事業実施に係る運営体制

各主体（提案団体及び取組に関わる関係者（産学官民等））の役割

NO	名称	役割
1	伊豆 in 賀茂 6	全体統括、委託業務の運営進行管理、実施
2	里山 Base	地域力向上プログラムの開発、プロデュース、運営実施
3	地域での活動者	#下田の暮らしのコンテンツ制作

様式 1

令和3年度関係人口創出・拡大のための中間支援モデル構築に関する調査・分析業務

(本事業による成果目標 (KPI) の検証方法についても記載)

※ 提案する事業で達成すべき目標を可能な限り明確かつ定量的 (困難な場合は定性的な目標も可とするが、その場合も、測定可能な関連する指標を設定し、定量的な分析ができるようにすること。) に記載すること。

【本事業の目標設定と KPI】

本事業の実行を 6 月～2 月まで (4、5 月はオープン準備期間) の 9 か月間とし、

1) 地域の活動者の関与

- ✓ポータルサイトへ掲載した団体 (個人) の数→20
- ✓#下田の暮らしの記事取り上げ数→360
- ✓地域力向上プログラム参加団体 (個人) の数→20
- ✓下田の暮らし体験イベント及びセミナー実施回数→9

また、

- ・12月に掲載団体 (個人) へのアンケート調査
- ・随時、地域力向上プログラム参加団体 (個人) へのアンケート調査
- ・随時、下田の暮らし体験イベント及びセミナー実施団体 (個人) へのアンケート調査を実施、翌年以降の本事業の改善につなげる。

2) 関係人口の関与

- ✓サイト PV→スタート時の 6 月の月間 PV を基本値とし、2 月の月間 PV を 3 倍にすることを目標  
※本事業について過去の実績がないため、絶対値ではなく増加の傾向を目標とした。
- ✓下田の暮らし体験イベント及びセミナー参加者数→100
- ・参加者へアンケート調査を実施し、翌年以降の本事業の改善につなげる。

④ 成果検証

様式 1

令和3年度関係人口創出・拡大のための中間支援モデル構築に関する調査・分析業務

⑤今後の展開

- ※ モデル事業終了後の展望（取組の継続及び自走化）について、記載すること。
- ※ 他の地域への普及展開が見込めるものとなっているか。

アンケート調査の結果を踏まえ、

- ・地域力向上プログラムの見直し
- ・下田の暮らしイベント・セミナー内容の見直し

を行う。

ポータルサイトへの「#下田の暮らし」掲載内容を分析し、

- ・さらなる地域の活動者の参加呼びかけ
- ・掲載した地域の活動者へのアドバイス

を行い、よりコンテンツ拡充を図る。

ポータルサイトには関係人口が自由に書き込めるご意見ボックスを設置し、関係人口の興味関心事項と地域の活動をマッチングしていく予定。

本事業の活動報告をもとにパッケージ化し、R4年以降周辺地域に提案予定

⑤今後の展開

（事業の将来的な自立・自走化に向けた方策）

- ✓事業運営の一部は公的資金でまかなう。
- ✓一部のコンテンツは有料化することで自走化を図る
- ✓本事業の活動を踏まえ、関係人口（企業）のサポート（寄付）を体系化し、将来的な自立・自走を図る。





経費内訳・経費予定額

項目	単価	数量	金額	積算内訳
1) 「#下田の暮らし」ポータルサイト構築運営費				
ポータルサイト新規構築費	2,000,000	1式	2,000,000	素材費用含む
運営人件費	8,000	1.5人日×120日	1,440,000	一部ライティング費用含む
事前準備稼働人件費	8,000	2人×30日	480,000	
2) 暮らし体験施設「伊豆下田見晴亭」修繕改装費				
修繕改装費	2,000,000	1式	2,000,000	準備稼働人件費含む
3) 学びのプログラム実施費用				
学びのプログラムセミナー実施費用	200,000	5回想定	1,000,000	事前打ち合わせなど準備費含む
4) 暮らしの体験イベント・セミナー実施費用				
イベント・セミナー実施費用	200,000	5回想定	1,000,000	事前打ち合わせなど準備費含む
5) 広報関連費用				
プレスリリース作成配信費	100,000	1式	100,000	
伊豆新聞広告掲載費	15,000	9回	135,000	
6) アンケート実施、分析、報告レポート作成費				
アンケート実施、分析、報告レポート作成費	200,000	1式	200,000	
6) 諸経費				
通信費、出力費、交通費ほか	95,000	1式	95,000	
小計				
			8,450,000	
消費税(10%)				
			845,000	
合計				
			9,295,000	

様式4

再委託に関する事項（積算内訳）

項目	単価	数量	金額	積算内訳
1) 学びのプログラム実施費用				
学びのプログラムセミナー実施費用	200,000	5回想定	1,000,000	事前打ち合わせなど準備費含む
小計			1,000,000	
消費税（10%）			100,000	
合計			1,100,000	